



News Release

バイエル薬品株式会社
広報本部
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.bayer.co.jp/byl

バイエル ヘルスケア社の公募型研究助成プログラム「Grants4Targets」に日本から応募の研究テーマが初めて採択

- 神戸大学大学院医学研究科 特命助教 篠原正和先生の研究テーマが採択
- 次回の公募は 8 月 31 日まで受付中

大阪、2015 年 7 月 29 日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:カーステン・ブルン、以下バイエル薬品)は、このたび神戸大学大学院医学研究科 特命助教 篠原正和先生の研究テーマがバイエル ヘルスケア社の公募型研究助成プログラム「Grants4Targets」に採択されたと発表しました。2009 年にバイエル ヘルスケア社が開始した本プログラムに日本からの応募が採択されたのは初めてのことです。本年 3 月 31 日までに寄せられた応募総数 112 件に対する審査の結果、助成対象として 11 件が採択され、そのうち篠原先生の研究テーマが日本からの応募として唯一選定されました。

篠原先生は、抗炎症作用を有する脂質メディエーターであるレゾルビンに注目した研究テーマで応募し、「Grants4Targets」の探索領域のうち循環器領域の「Focus Grants」として採択されました。日本初の採択者に輝いた篠原先生は「研究のアイデアが評価され光栄です。従来型の助成とは異なり、簡単に申請でき短期間で結果が分かるプロセスだと実感しました。生理活性を持った新しい脂質の研究がバイエルの支援のもとに発展するとうれしく思います」と述べています。

昨年 9 月に本プログラムの日本語ウェブサイトを開設し、日本の研究者に積極的に紹介してきたバイエル薬品オープンイノベーションセンター センター長の高橋俊一は「今回、日本からの応募件数が全体の 10%以上を占め、米国に次いで 2 番目に多い件数となったことで、プログラムに対する確実な手応えを感じました。その中から日本で初めて篠原先生の研究テーマが採択され大変喜ばしく思っています。今後も日本の研究者に向けて『Grants4Targets』を継続的に紹介し、本プログラムを通じて将来のネットワークや連携を形作っていきたいと考えています」と述べています。

Grants4Targets

研究助成プログラム「Grants4Targets」について

「Grants4Targets」は、バイエルヘルスケア社が2009年に開始した公募型の研究助成プログラムです。バイエルの注力領域である腫瘍領域、婦人科領域、循環器領域、血液領域、眼科領域における新規の探索標的やバイオマーカーに対する研究を支援し、バイエルの創薬に関する専門的知識や技術を提供するためのグローバルプロジェクトです。バイエル薬品オープンイノベーションセンターは、新規の探索標的やバイオマーカーに関するアイデアの応募機会を日本において広く紹介し、バイエルヘルスケア社からの研究費獲得を支援します。

本プログラムは、探索標的やバイオマーカーに対する研究費を簡単な応募プロセスと迅速な採択決定により獲得できることが特長です。応募された内容は、包括的な社内評価を経て、約8週間で選考結果が通知されます。研究費は、探索のきわめて初期段階にある標的に対する「Support Grants」(5,000～10,000ユーロ)と、一段階発展したアイデアに対し、アイデアから創薬研究プロセスへ移行させる段階に対応する「Focus Grants」(10,000～125,000ユーロ)の2タイプがあります。研究費のタイプおよび金額は、応募内容に応じて、バイエルヘルスケア社が決定します。採択後は、バイエルの研究者がプロジェクトパートナーとしてさまざまな情報提供を行う可能性や、最先端の創薬技術へアクセスできる可能性もあります。バイエルは資金面や技術面での援助を行います。資金援助を受けたプロジェクトの成果物の権利は研究者に帰属します。その成果物に基づき、バイエルと研究者はそれぞれの裁量で、さらなる共同研究を進める契約に合意することができます。

2009年5月に開始した本プログラムには、これまでに1,300を超える応募が寄せられており、内訳は、ドイツ(約20%)、ドイツ以外のヨーロッパ諸国(約40%)、米国およびアジア(約40%)となっています。本プログラムに応募し採択された方々からは、研究費の迅速な支給やバイエルとの共同研究に進める可能性がある点、また探索と検証を実現するツールであることを評価する声が届いています。

「Grants4Targets」の探索領域

腫瘍領域	増殖抑制、生存シグナル伝達、転写・クロマチン調節、細胞周期調節、腫瘍代謝、低酸素、免疫療法、抗体-薬物複合体
婦人科領域	子宮内膜症および子宮筋腫
循環器領域	急性冠症候群、虚血性脳卒中、肺高血圧、心房細動、心不全、末梢動脈閉鎖性疾患、

	急性肺損傷／急性呼吸促迫症候群、心腎症候群、慢性腎疾患
血液領域	血友病、異常ヘモグロビン症、骨髄細胞の末梢血への動員および再生
眼科領域	非滲出型加齢黄斑変性／地図状萎縮、シユタルガルト病
Web サイト (日本語)	https://openinnovation.bayer.co.jp/ja/home/grants4targets/index.php
応募の締切	毎年 3 月 31 日および 8 月 31 日の年 2 回

本年 2 回目の応募は 8 月 31 日まで受け付けております。

バイエル薬品株式会社

2015 年 7 月 29 日

Bayer Yakuhin, Ltd./Communications

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーケア、ラジオロジー(画像診断関連製品)、動物用医薬品(コンパニオンアニマルおよび畜産用薬品)の4事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域の4領域に注力しています。バイエル薬品は、Science For A Better Life (よりよい暮らしのためのサイエンス)の企業スローガンのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされたい願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。

バイエル薬品ホームページ: <http://www.bayer.co.jp/byl>

バイエル薬品オープンイノベーションセンターについて

バイエル薬品オープンイノベーションセンター(Open Innovation Center Japan : ICJ)は 2014 年 6 月 1 日付でバイエル薬品の開発本部内に立ち上げた組織です。日本国内を対象とし、アンメット・メディカル・ニーズが高い病気の作用機序解明、および革新的治療薬の開発を促進する有望な共同研究を特定することが主な活動です。ICJ の活動を通じて、バイエルはアカデミアやベンチャー企業とのネットワークを強化し、バイエルの専門領域における共同研究や提携機会を開拓することを目的としています。

バイエル薬品 ICJ のホームページ: <https://openinnovation.bayer.co.jp>

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルグループもしくは各事業グループの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。